

日本語母語話者の カタカナ語とその類義語の使用実態

— BCCWJ コーパスの分析から—

山下直子（香川大学）・平田史織（東京大学）
nyamash@ed.kagawa-u.ac.jp・fuji.9211.shio@gmail.com

【要約】

本研究の目的は、日本語母語話者が、カタカナ語とその類義語をどのように使用しているかを探ることである。母語話者がカタカナ語を使う文脈や共起する語（コロケーション）を明らかにすることをめざし「現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）」¹とNINJAL-LWP for BCCWJ（NLB）²を用いて使用状況を分析した。その結果、コーパスの使用実態においても「カタカナ語にニュアンスが付加」「カタカナ語のほうが多義的」「カタカナ語が特定分野・領域に限定」といった使い分けが認められた。

1. はじめに

カタカナ語は日本語学習者にとって学習が難しいものの一つである（石綿 2001, 中山他 2008 等）。従来、カタカナ語は日本語の語彙で周縁的な存在とされてきたが、その一部が基本語彙として定着しつつあることが指摘されている（金 2012, 茂木 2015 等）。カタカナ語がこれまで使われていた類義語に代わって使用される、あるいは類義語と共存するようになったのである。日本語母語話者はカタカナ語と類義語の両者を使い分けているが、具体的な記述は辞書にもなく、使い分けは日本語学習者にとって困難点となっている。このカタカナ語の「使用」に着目して調査を行い、山下・畑・轟木（2018）では、日本語母語話者はカタカナ語と類義語の使い分けに一定の基準を持つこと、山下・畑（2019）では、日本語学習者も自分なりのルールに基づき、カタカナ語と類義語を使い分けようとしているものの、母語話者とは違いやずれがあり、使い分けが難しいことが明らかになった。しかし、これまで用いた文産出と違いの自由記述という調査方法では学習者の負担が大きく、また、基準となる母語話者の結果といっても限られたものであることが課題として残された。さらに詳細な調査を行うため、コーパスを用いて幅広く母語話者の使用の状況を分析し、これまでの調査結果を検証して使い分けを探ることが必要である。

そこで、本研究では、日本語母語話者が、カタカナ語とその類義語をそれぞれどのように使用しているかを探る。コーパスでの使用状況を分析し、母語話者がカタカナ語を使う文脈やカタカナ語と共起する語（コロケーション）を明らかにすることをめざす。

¹ 現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ） https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/（2020年12月21日）

² NINJAL-LWP for BCCWJ（NLB） <https://nlb.ninjal.ac.jp/>（2020年12月21日）

2. 調査方法

2.1 調査対象と分析方法

本調査では、母語話者の使用実態を探るため、書籍や雑誌だけでなく Web 上の文書も含めた多様な書き言葉のデータを集めた国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)」を利用する。検索システムとしてコロケーションの抽出が可能な国立国語研究所・Lago 言語研究所の NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) を用いて、カタカナ語とその類義語を検索した³。

分析方法は、カタカナ語とその類義語のサブコーパス、文法パターン (助詞+動詞)、共起する語とそれぞれの用例を抽出する。また、その結果を『広辞苑第七版』(2018) 等の辞書の意味で分類して、共起する語や使われる文脈・場面の分析を行う。

2.2 調査語彙

調査に用いた語彙は、澤田 (1993) の基本外来語の動詞で、山下他 (2018) 等で明らかになった使い分けの三つの基準 (①ニュアンスが付加したカタカナ語, ②多義的なカタカナ語, ③特定分野や領域に限定されるカタカナ語) のそれぞれ 2 語 6 ペア (12 語) である。具体的には「カットする・切る, スタートする・開始する, チェックする・点検する, カバーする・補う, トレーニングする・練習する, リラックスする・くつろぐ」である。

3. 調査の結果と考察

3.1 ニュアンスが付加したカタカナ語

3.1.1 「カットする・切る」の結果

NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) を用いて検索したところ、特定目的サブコーパスにおける出現頻度と PMW (100 万語当たりの出現頻度) は表 1 の通りであった。「切る」が「法律」以外全てに出現しているのに対し、「カットする」は出現が限定的で、かつ、硬い文書では使用されていない。

表 1. 「カットする・切る」の特定目的サブコーパスごとの頻度と PMW

		ブログ	知恵袋	会議録 国会	セラー ベスト	教科書	広報誌	韻文	白書	法律
カットする 940	頻度	172	162	36	16	2	4	0	0	0
	PMW	14.31	14.30	7.08	3.87	1.92	0.97	0	0	0
切る 13,075	頻度	1,338	1,459	228	550	150	134	64	60	0
	PMW	111.33	128.77	44.82	133.15	143.98	32.62	275.26	12.59	0

文法パターンに着目すると、「カットする」は、「N+助詞+V」という構造の助詞にヲ格をとる文が総出現頻度 940 中 321 (34.15%) と最も多い。「切る」も、ヲ格が 13,075 中 6387 (48.85%) と最多である。

しかし、共起する語、コロケーションにおいては両者に違いがみられる。「カットする」のヲ格のコ

³ 本調査で利用した NINJAL-LWP for BCCWJ ver.1.40 には、出版サブコーパスの新聞 (約 94 万語) は含まれておらず、BCCWJ の総語数は 109,102,192 である。

ロケーションは、「髪を」「布を」といった具体物である。一方、「切る」のコロケーションには、それらに加えて「縁を」「言葉を」といった抽象的な語も存在するほか、「首を切る」「手を切る」といった慣用句も多くみられる。『広辞苑第七版』によれば、「カット」の意味は「①切る。一部を削る。②髪を切り整える。③生地を裁断する。④映画・テレビで、不要な、または好ましくない場面を切り取る。」等とある。一方、「切る」は「①連結・結合しているものに力を加えて離す。②物事を限定する。下回る。③尽きるようにする。物事を最後までやる。④（他と異なって）物事をする。最初にする。」等とあり、「切る」の意味範囲が広いことがわかる。そのため、「切る」が幅広い共起語と結びつくと考えられる。

次に、「カットする・切る」の BCCWJ コーパスにみられる用例を以下(1)～(6)に示す。(1)～(3)をみると、「カットする」が「余分なものを切る」という意味で使用されていることがわかる。山下他 (2018) も、日本語母語話者が「カットする」を「切ることで整える、改善する」というプラスのニュアンスで使用していることを指摘している。一方、(4)～(6)をみると、「切る」にはプラスの意味は付加されていないといえる。

- (1) 鶏の皮の部分をカットして取り除く。(Kitajima Ai Cooking Salon 編『Mariage』, 2002, 596)
- (2) 髪をカットして、手術に備えた。(植松文江著『十四年十回のがん手術を生き抜いて』, 2004, 916)
- (3) 出演している部分をカットして放送したそうです。(Yahoo!知恵袋, 2005, 芸能人, タレント)
- (4) 私は、一位でテープを切ることができた。(高橋尚子著『夢はかなう』, 2004, 782)
- (5) 男は電話を切った。(宗田理著『再生教師』, 2005, 913)
- (6) 開設以来、初の訪問者さんが 100 人を切りそうです。(Yahoo!ブログ, 2008, グルメ, ドリンク)

3. 1. 2 「スタートする・開始する」の結果

NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) にて検索した、特定目的サブコーパスにおける出現頻度と PMW を表 2 に示す。主に「白書」, 「法律」, 「教科書」において違いがみられることから、「開始する」が硬い文書で使用されていることがわかる。

表 2. 「スタートする・開始する」の特定目的サブコーパスごとの頻度と PMW

		広 報 誌	ブ ロ グ	会 議 録 国 会	セ ラ ー ベ ス ト	知 恵 袋	白 書	教 科 書	法 律	韻 文
スタートする 1,579	頻度	136	242	92	43	91	22	3	0	0
	PMW	33.10	20.14	18.09	10.41	8.03	4.62	2.88	0	0
開始する 4,083	頻度	192	289	110	73	95	829	20	53	2
	PMW	46.73	24.05	21.62	17.67	8.38	173.93	19.2	56.49	8.60

次に、名詞+助詞のパターンを表 3 に示す。「スタートする」は、「(時間・場所)カラ」をとる文が最多であるが、自他動詞に着目すると、自動詞文 (N ガ V) が 22.67% (358) で、他動詞文 (N ヲ V) の 16.47% より多い。一方、「開始する」は、他動詞文 (N ヲ V) が 61.03% (2,492) と最多である。また、「スタートする」のヲ格の約 7 割が「ーをスタートさせる」という使役文であったが、「ーを開始

させる」はわずか1例のみであった。以上のことから、両語の典型的な文構造が異なるといえる。

表3. 「スタートする・開始する」の名詞+助詞のパターン

	N ガ V	N ヲ V	N ニ V	N デ V	N カラ V
スタートする	358	260	248	209	417
1,579	22.67%	16.47%	15.71%	13.24%	26.41%
開始する	1,093	2,492	790	382	608
4,083	26.77%	61.03%	19.35%	9.36%	14.89%

次に、コロケーションを比較すると、両語には「開発を」「活動を」「計画を」「事業を」等、共通のコロケーションが多く存在する。『広辞苑第七版』にも、「スタート」は「動き出すこと。始まること。出発。」、「開始する」は「始めること。始まること。」とあり、明確な意味の違いはみられない。

そこで、コーパスの用例を比較する。「スタートする・開始する」の用例を以下(7)～(12)に示す。(7)～(9)をみると、「スタートする」には「期待を込めて開始する」というニュアンスが付加されていることがわかる。山下他(2018)も、日本語母語話者が「スタートする」に抱くイメージについて、単に始まるだけでなく「新しい何かが始まる」というプラスのイメージ、新たな気持ちで出発するイメージであると指摘している。一方、(10)～(12)には、「期待」の文脈がないことがわかる。

- (7) 「文化・情報」の発信を標榜するにあたって、GAZOO はさらに一步踏み込んだ活動をスタートさせた。(デルフィス IT ワークス編『トヨタと GAZOO』, 2001, 675)
- (8) まずまずのビジネスプランで事業をスタートさせても, そのとおりに行かない。(寺岡寛著『スモールビジネスの経営学』, 2003, 335)
- (9) 「情報館」を有効に利用するため、映像作品を制作するプロジェクトを同年の夏からスタートさせた。(松野良一著『市民メディア論』, 2005, 361)
- (10) 東大が九五年九月から、国産 OS 「トロン」の創業者である坂村教授らの音頭取りで、漢字のコード化プロジェクトを開始した。(日本経済新聞社編『新メディア社会の誕生』, 1996, 361)
- (11) 八十年代の初めにキプリングも活動を開始した。(北原靖明著『インドから見た大英帝国』, 2004, 225)
- (12) 12 月からは 5 地区において新たに事業を開始します。(市報むさしの, 2008, 東京都)

3.2 多義的なカタカナ語

3.2.1 「チェックする・点検する」の結果

NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) を用いて検索した結果、表4に示したように「チェックする」の頻度は2,622、「点検する」の頻度は469である。「チェックする」は使用される頻度も高く、使用実態からみても定着が進んでいるといえよう。サブコーパスごとの頻度をみると、共に幅広く使われているが、頻度には違いがみられた。「チェックする」は「点検する」と比べて、「Yahoo!知恵袋」「Yahoo!ブログ」「国会会議録」のPMWが高く、会議録やweb上の書き言葉といった分野でよく使われている。

表 4. 「チェックする・点検する」の特定目的サブコーパスごとの頻度と PMW

		知 恵 袋	ブ ロ グ	会 議 録 国 会	教 科 書	セ ラ ー ベ ス ト	広 報 誌	白 書	韻 文	法 律
チェックする 2,622	頻度	479	388	74	11	40	39	14	0	0
	PMW	42.28	32.28	14.55	10.56	9.68	9.46	2.94	0	0
点検する 469	頻度	42	30	16	11	25	40	18	0	0
	PMW	3.71	2.50	3.15	10.56	6.05	9.74	3.78	0	0

文の構造では、「チェックする・点検する」共に、名詞＋助詞「ヲ」に続くパターンがそれぞれ 43.63% (1,144), 53.52% (251) と最も高い割合であることは共通している。

このヲ格をとるパターンで、どのような名詞と使われているのかというコロケーションについて比較すると、「チェックする」は共起語が多様で、頻度 5 以上の語 45 種類であった。医療、乗り物、機械、メール・情報などさまざまである。また、「ページ」「サイト」「データ」など、カタカナ語も多い。一方で、「点検する」の共起語は頻度 5 以上の語 6 種類である。比較的頻度の高いものでは「点検する」と共起する語は、すべて「チェックする」とも共起しているがコロケーション全体をみると、「エンジン」、「機械」や「人員」など「点検する」のみと共起する語もあり、両者の共起語には違いがみられた。

次に、これらのコロケーションが、それぞれどのような文脈でどのような意味で使われているのかを分析するため、BCCWJ コーパスの用例を抽出した。用例の一部を以下の(13)～(16)に示す。用例をみると、「チェックする」がさまざまな意味・文脈で幅広く使われていることがわかる。『広辞苑第七版』によれば、「点検」は「一つ一つ検査すること。」である。一方、「チェック」は、「①小切手、②チッキ、③照合すること。確認すること。また、それが済んだしるし。④阻止すること。抑制すること。⑤市松模様、⑥チェスで、王手」とあり、さらに、『明鏡国語辞典』によると、「⑤ (俗) 確認して心にとめること、⑥勘定。会計。」という意味もあり、多義的である。山下他 (2018) でも、日本語母語話者は自由記述のコメントで「チェックする」の多義性に言及している。

- (13) 退職がきまったら、健康状態をチェックしておきましょう。(新村健生監修『退職・転職の「年金・保険・税金」がわかる本』, 2001, 364)
- (14) メールをチェックする。(藤田宜永著『恋しい女』, 2004, 913)
- (15) 独裁者が適切な政策を形成している間はよいが、間違った政策を形成した時に、それをチェックする途がないからである。(衛藤藩吉著『無告の民と政治』, 2004, 319)
- (16) テレビ朝日系の土曜深夜に放送されているので、番組欄を毎週、チェックしてみてください。(Yahoo!知恵袋, 2005, テレビ, ラジオ)

「点検する」のコーパスにみられる用例の一部は以下の(17)～(19)である。「チェックする」の一部と意味は重なっているが、その使用される幅は狭い。「点検する」は、専門性や厳密で安全面に関わるといった日本語母語話者の使い分けに関するコメントがみられるように(山下他 2018), より固い文脈で、専門的あるいは安全に関するものも多く、「安全性を」(4例)や、ヲ格以外でも「定期的に」(12), 「子

細に」(7),「念入りに(4)」などとも共起している。

- (17) 巣箱の中を点検すると,多くの働き蜂は上向きに静止。(岡田一次著『ニホンミツバチ誌』,1997, 486)
- (18) 通商産業省においては,既存化学物質の安全性を点検するため,分解性及び蓄積性の試験を実施している。(環境白書,1988)
- (19) 遠方で買った車を近所の店で定期点検してください。(Yahoo!知恵袋,2005,自動車)

両者を比較すると「チェックする」は「点検する」よりも使用頻度が高く,さまざまな文脈でより多様な意味で多くの語と使われていることがわかる。また,「チェックをする(207) /チェックを入れる(222)」などといった名詞としての使い方だけでなく,動詞「チェックする」(2,622)の使用も頻度が高く定着しつつあるといえるのではないだろうか。

3.2.2 「カバーする・補う」の結果

NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) を用いて検索した結果,「カバーする」の頻度は705,「補う」の頻度は1,073であった。特定目的サブコーパスごとの頻度とPMWについては,大きな違いはみられなかった。

文の構造に関しても,「カバーする」では助詞「デ」に続くパターンも22.55%(159)とみられるものの,ヲ格に続くパターンが54.61%(385)であり,「補う」75.68%(812)と同様にヲ格が最も多くみられることは共通している。この助詞「ヲ」に続くパターンのコロケーションをみると,「不足」や「欠点」などの何かが欠けていることを表す語と共起する点は共通している。しかし,「水分」「オイル」「語」などのように足りないものそのものを示す語は「補う」のみと共起している。また,「カバーする」は,「全域」「%」や「曲」などの「補う」とは共起せず,置き換えも難しいと思われる語と共起している。

これらのコロケーションが使われる文脈を分析するため抽出したBCCWJコーパスの用例の一部を以下の(20)~(27)に示す。『広辞苑第七版』によれば,「補う」は「不足をみたく。埋め合わせる。欠けた部分をつくろう。」であり,「カバー」は,「①物をおおうもの。おおい。②損失・不足・失敗を補うこと。」③範囲に入れること。④スポーツで味方選手の動きにより手薄になった所を補うこと。⑤すでに発表されている楽曲を別の演奏者が演奏すること。」など意味に幅がある。「カバー」の意味②は「補う」と重なるが,足りない何かそのものを付け加えるという(25)~(27)の用例は「カバー」とは置き換えが難しいと思われる。また,「カバーする」は,意味②の用例(21)以外にも多様な意味を持ち,さまざまな文脈で幅広く使われていることがわかる。特に,用例(22)のような「③範囲に入れる」という意味は,山下他(2018)の調査の母語話者の産出した文では少なかったが,「全てを,全域を,領域を,地域を」などの多くの語と共起していることがわかった。

- (20) 全体をカバーするタイプは甲薄足の人に。(non・no ノンノ,2002,一般)
- (21) 飛距離不足や大きなミスをカバーするためです。(高橋治著『シングルをめざす人のゴルフクラブの選び方』,1995,783)
- (22) 全体から見れば話にならぬほど狭い地域をカバーするにすぎない。(野口悠紀雄著『「超」アメリカ』,1995,10)

カ整理日誌』, 2005, 302)

- (23) 捕手が本塁を空けたときは、本塁をカバーする。(土屋弘光著『New 野球テクニク』, 1989)
- (24) この曲をカバーしていたが、みごとにスピッツの新曲に聞こえた。(喫茶ロック委員会編『喫茶ロック』, 2002, 764)
- (25) 不足しがちな栄養素を補う料理 (新しい技術・家庭 家庭分野, 2005, 中)
- (26) 発汗で失われた水分を補うには、豚肉がお勧め。(サンデー毎日, 2001, 一般)
- (27) 1 内に適語を補って言いなさい。(Crown English Series I, 2006, 高)

3. 3 特定分野に限定されるカタカナ語

3. 3. 1 「トレーニングする・練習する」の結果

「トレーニング (名詞)」の総出現頻度は 1,872, 「トレーニングを+V」は 449, 「トレーニングをする」は 111 である。「トレーニングする (動詞)」の総出現頻度は 87 であるため、サ変動詞としての定着は弱いものの、類義語と比較するために本研究では「トレーニングする」を扱う。

まず、NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) を用いて検索した、特定目的サブコーパスにおける出現頻度と PMW を表 5 に示す。「トレーニングする」は、主に「知恵袋」と「ブログ」に使用されており、出現コーパスが限定的である。

表 5. 「トレーニングする・練習する」の特定目的サブコーパスごとの頻度と PMW

		知恵袋	ブログ	セバ ー ト	教科書	広報誌	会議録 国会	韻文	白書	法律
トレーニングする 87	頻度	16	16	1	0	0	0	0	0	0
	PMW	1.41	1.33	0.24	0	0	0	0	0	0
練習する 1,287	頻度	209	357	31	35	40	1	0	0	0
	PMW	18.45	29.70	7.50	33.59	9.74	0.20	0	0	0

次に、名詞+助詞のパターンを表 6 に示す。どちらも、ヲ格、ニ格、デ格をとる文がいずれも 2 割に満たず拮抗しており、両語の文構造に大きな違いはないといえる。

表 6. 「トレーニングする・練習する」の名詞+助詞のパターン

	N ヲ V	N ニ V	N デ V	N ハ V	N ガ V
トレーニングする 87	11 12.64%	14 16.09%	16 18.39%	4 4.60%	4 4.60%
練習する 1,287	173 13.44%	198 15.38%	192 14.92%	76 5.91%	43 3.34%

両語の意味とコロケーションを比較すると、『広辞苑第七版』によれば、「トレーニングする」は「訓練。練習。鍛錬。」とあり、「練習する」は「学問・技能・スポーツなどが上達するように、くりかえして習うこと。」とある。しかし、コーパスのコロケーションをみると、「トレーニングする」には、「筋

肉を」「選手を」等のスポーツに関連した語が多くみられる。一方、「練習する」には、「～方（かた）を」「ピアノを」等、スポーツの分野に限定されないコロケーションがみられる。

さらに、コーパスの用例を比較する。「トレーニングする・練習する」の用例を(28)～(33)に示す。

- (28) 初めてマラソンに参加するためにトレーニングしている初心者ランナー群（ティム・ノックス 著、日本ランニング学会訳『ランニング事典』, 1994, 782）
- (29) ももの前面の筋肉を集中的にトレーニングするマシンです。（岩下聡監修『手軽にかんたんフィットネス』, 2001, 498）
- (30) 先日久しぶりにジムでトレーニングしたところ案の定筋肉痛になりました。（Yahoo!知恵袋, 2005, 健康, 病気, ダイエット）
- (31) この訊き方を随分と練習してきた。（野沢尚著『深紅』, 2003, 913）
- (32) モデル対話を練習しよう（NEW HORIZON English Course 1, 2005, 中）
- (33) 自由曲と課題曲を練習します。（市報きよせ, 2008, 東京都）

「練習する」はスポーツ、音楽や学習関連等に幅広く使われるが、「トレーニングする」は主にスポーツの場でよく使われ、分野ですみわけていることがわかる。また、「トレーニングする」は、体力の向上を図る、より高度な技術をめざす意味を持つこともうかがえる。松尾・西尾・田中（1965）は、「練習する」には「教育／音楽／放送」でそれぞれ独自に取り入れられた「ドリル・レッスン・リハーサル」があり類義関係が多様であると述べているが、「トレーニングする」もその一つであると考えられる。

3. 3. 2 「リラックスする・くつろぐ」の結果

NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) を用いて特定目的サブコーパスにおける出現頻度と PMW を検索した結果、両語とも「ブログ」における使用が最も多く、特に「リラックスする」は硬い文書における使用がほぼみられなかった。

次に、名詞+助詞のパターンを表7に示す。表7をみると、「くつろぐ」のデ格が 20.90%（144）と突出して多い。また、「リラックスする」は使役形での使用も多く、ヲ格（12.66%）の約9割は「ーをリラックスさせる」の形である。これらのことから、両語の典型的な文構造が異なっていることがわかる。なお、コーパスには「リラックスして／くつろいで+動詞」「動詞+（し）てリラックスする」という文も多くみられ、必ずしも「名詞+助詞」のパターンをとらないことも明らかになった。

表7. 「リラックスする・くつろぐ」の名詞+助詞のパターン

	N ヲ V	N ガ V	N ニ V	N デ V	N ハ V
リラックスする	79	53	47	41	34
624	12.66%	8.49%	7.53%	6.57%	5.45%
くつろぐ	14	47	61	144	47
689	2.03%	6.82%	8.85%	20.90%	6.82%

次に、両語のコロケーションを比較する。「リラックスする」には「体を」「気持ちを」「心身を」等

のヲ格のコロケーションがみられるが、「くつろぐ」にはヲ格のコロケーションが少なく、全て頻度2以下である。一方、「くつろぐ」は「リラックスする」に比べてデ格のコロケーションが豊富であり、「家で」「部屋で」「リビングで」等、全てが場所を示している。これは、下岡（2013）の、「くつろぐ」は常に場所を伴い、この場所は必須成分に近いものであるという分析と一致している。また、山下他（2018）の調査でも、日本語母語話者の「くつろぐ」の産出文は、「〈ある場所〉でくつろぐ」の形が9割弱であることが指摘されている。

さらに、「リラックスする・くつろぐ」のコーパスの用例を以下(34)～(39)に示す。

- (34) 見る側もリアルな鑑賞眼と違った見方を強いられるわけで、そこで観客が楽しむためには気分をリラックスさせる必要があります。(上総英郎著『歌舞伎通』, 1988, 774)
- (35) 精神的な緊張をやわらげるためにはまず肩の筋肉をリラックスさせましょう。(王進利著『中国式目・肩・腰のツボ』, 2002, 492)
- (36) 1回転してもとの姿勢に戻ったら、仰向けになり全身をリラックスさせます。(後藤早知子編『バレエ式ソフトストレッチダイエット』, 2004, 595)
- (37) みんな思い思いのかっこうで、広いカーペットの上でくつろぐ。(樋口健夫・樋口容視子著『住んでみたサウジアラビア』, 1986, 302)
- (38) 今ごろきっと、彼は家の中でくつろいでいるに違いない。(マーガレット・ウェイ著、榎由子訳『きみという名の魔法』, 2002, 933)
- (39) 僕は、今ママとリビングでくつろいでいます。(Yahoo!ブログ, 2008, ペット, 動物)

これらの文構造と用例から、「リラックスする」と「くつろぐ」の役割分担がみてとれる。特に、「リラックスする」に典型的である「〈身体の一部／精神〉をリラックスさせる」という文は、「くつろぐ」に言い換えることが難しい。山下他（2018）でも、面接等に緊張をとって臨むという場面は「くつろぐ」には置き換えのきかない「リラックスする」のみの用法であると述べられており、両者のすみ分けが指摘されている。

3. 4 まとめ

これらのカタカナ語と類義語の使い分けに関して、意味に着目したイメージを図1に示した。

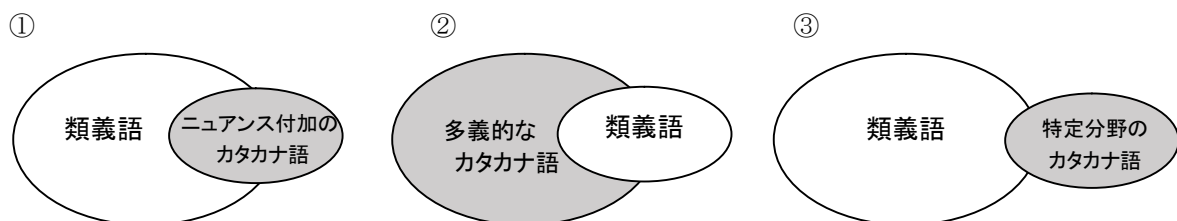


図1. カタカナ語と類義語の使い分けのイメージ

①「カットする」「スタートする」には、類義語にないニュアンスが付加されているといえる。松尾他（1965）は、カタカナ語が目新しさ・新鮮さを持つことを指摘している。日本語母語話者は、これらのカタカナ語に類義語にはないニュアンスを付加して両者を使い分けられていると考えられる。また、

②「チェックする」「カバーする」は類義語より多義的で、さまざまな文脈で多くの共起語と使われているといえる。これらは、先行研究の金（2012）などで指摘されているように意味が拡大し多義語化することで定着するカタカナ語の一つであると考えられる。これらのカタカナ語は多くの類義語があり、コーパスの使用状況の分析からも、母語話者は多様な意味で類義語より広範囲で使用していることがわかる。さらに、③「トレーニングする」「リラックスする」は、特定の分野や領域で使用されており、類義語との置き換えが難しいカタカナ語であるといえる。

意味的な違いに加えて構造の面からも、「スタートする」は、「ーがスタートする（自動詞）」「ーをスタートさせる（使役）」の形式で使用されやすい。一方、類義語である「開始する」は、「ーを開始する（他動詞）」の形式で使用されやすいことが明らかになった。また、「リラックスする」に多い文構造が「ーをリラックスさせる（使役）」であるのに対し、類義語である「くつろぐ」の典型的な文構造は「ーで（場所）＋くつろぐ」である。このように構造的な違いも両者にみられる。

4. まとめと今後の課題

本研究では、カタカナ語とその類義語との使い分けに関して、BCCWJ コーパスと NLB を用いて調査を行った。その結果、「カタカナ語に類義語にはないニュアンスが付加」、「カタカナ語が類義語よりも多義的」、「カタカナ語が特定分野での使用に限定」の3通りの使い分けが認められた。

しかし、今回の調査語彙は6ペア12語と限られたものである。今後は、より多くの語に関してコーパスの用例の文脈や構造を分析してカタカナ語と類義語の使い分けを探り、さらに、日本語学習者への調査も行い、カタカナ語の効果的な学習を検討することをめざしたい。

謝辞 調査にあたり、国立国語研究所と Lago 言語研究所が開発した NINJAL-LWP for BCCWJ を利用しました。また、本研究は JSPS 科研費 JP20K00699 の助成を受けたものです。

参考文献

- (1) 石綿敏雄（2001）『外来語の総合的研究』東京堂出版
- (2) 金愛蘭（2012）「外来語の基本語化」陣内正敬（編）『外来語研究の新展開』231-270. おうふう
- (3) 澤田幸子（1993）「日本語教育のための基本外来語について」『奈良教育大学紀要』42(1), 225-239.
- (4) 下岡邦子（2013）『「寛ぐ」と『リラックスする』』『日本言語文化研究』17, 10-24.
- (5) 中山恵利子・陣内正敬・桐生りか・三宅直子（2008）「日本語教育における「カタカナ教育」の扱われ方」『日本語教育』138, 83-91.
- (6) 松尾拾・西尾寅弥・田中章夫（1965）『類義語の研究』国立国語研究所
- (7) 茂木俊伸（2015）「コーパスを用いた外来語サ変動詞の分析－「マークする」を例として－」『文学部論叢』106, 83-95.
- (8) 山下直子・畑ゆかり・轟木靖子（2018）「日本語母語話者のカタカナ語と類義語の使い分け：カタカナ語と類義の和語・漢語の調査から」『香川大学教育学部研究報告第I部』149, 45-52.
- (9) 山下直子・畑ゆかり（2019）「日本語学習者のカタカナ語と類義語の使い分け-産出文と自由記述の分析から-」『日本語教育連絡協議会論文集』32, 90-99.

辞書

- (1) 北原保雄編（2010）『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店
- (2) 新村出編（2018）『広辞苑 第七版』岩波書店